

今週のビルマのニュース  
2008年11月7日号【0834号】

今週の主なニュース：米大統領選で当選したオバマ氏のビルマ政策は？

戦略国際問題研究所(CSIS)の分析によれば、オバマ氏はビルマに対する制裁措置(投資・輸入禁止)を維持すると同時に、軍事政権を支援することなくビルマ国民に資する人道援助を行う。また、軍政への働きかけが一定以上の効果を上げていないのは国際社会がまとまっていないのが原因と認識。したがって、ASEAN、中国、インド、日本、欧州などの働きかけが互いに調和の取れたものにするために努力する(10月18日付CSIS「コンパラティブ・コネクションズ」より)。

その他：サイクロン襲来から半年、ほか

・サイクロン「ナルギス」襲来から半年がたった。NGOセーブ・ザ・チルドレンによれば被災地域では未だに学校に行けていない子どもが30万人もいる(4日付イラワディ誌)。また、乾季に入るのに伴い、清潔な飲料水の不足が深刻化してきている(3日付ロイター)。被害が大きかったイラワジ・デルタ地域では、サイクロン襲来後の米の収穫量が例年よりも少なくなると予想されることから次期の作付けにも悪影響が出ると見られる(5日付ロイター)。

・ビルマとバングラデシュとが領海線をめぐって争っているベンガル湾海域で、ビルマが天然ガスの探鉱を始めたことにバングラデシュが抗議し、現場海域に戦艦を送り、中国に紛争解決への助力を求めた。これを受けてビルマ側は探鉱作業を一時的に停止した(6日付ロイターほか)。

・アウンサンスーチー氏の主治医が6日、スーチー氏宅を約2時間訪れた。詳細は不明(6日付AFP)。

・ビルマ当局は新憲法の二か国語(ビルマ語・英語)版の販売を開始した。国営紙によれば政府系の書店で購入できる(3日付VOA)。

・スイスのコレンコ発電エンジニアリングがビルマでの水力発電事業のコンサル業務を請け負うことで軍政と合意した(10月31日付新華社)。

・国連筋によれば、軍政はガンバリ国連事務総長特別顧問をビルマに招待した。時期は今月末か来月初め。国連は招待に応じるかどうかを検討している。国連事務総長による訪問の可能性は低い(3日付イラワディ誌)。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

新たな発表はなし

イベントなど

- ・宇田有三写真展「アウンサンスーチーとビルマ」(岐阜県 瑞浪芸術館、24日まで)
- ・新拓生展「黙殺の視線 - Shan state of Burma -」(ビルマ・シャン州の写真展)(新宿ニコンサロン、10日まで、10~19時。但し最終日は16時まで)
- ・国連大学セミナー「60年を迎えた世界人権宣言」モーション・ピーダーセン元国際危機グループミャンマー現地事務所上級アナリスト講演「普遍的人権の促進：ミャンマーのケースより」ほか(国連大学、11日15時~)
- ・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会「ビルマ語講座入門」(大阪ボランティアセンター地下1階ボランティアルーム、14日19時~)
- ・第24回世界仏教徒会議日本大会にビルマ人僧侶ナヤカ師出席(浅草ビューホテル、15日12時~)
- ・神戸松蔭女子学院大学 2008年秋季特別講座シリーズ「ミャンマー(ビルマ)の現状」講師：日本ビルマ救援センター代表 中尾恵子氏(神戸松蔭女子学院大学、26日14時40分~)
- ・アジアと日本のつながりを考える国際セミナー「100人の村 あなたもここに生きています」ヒューライツ大阪ほか主催 秋元由紀がパネルに参加(大阪市阿倍野区民ホール、12月5日14時~)
- ・ビルマ市民フォーラム例会「初めてのの方のための『ビルマ入門講座』-ビデオ上映と講演-根本敬」(文京シビックセンター、12月6日18時半~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)  
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
[yuki@burmainfo.org](mailto:yuki@burmainfo.org) 080-2006-0165